

子ども食堂への食材寄贈についての取組紹介

鹿児島銀行

経営企画部 サステナビリティ推進室

【子ども食堂に対する支援活動の目的】

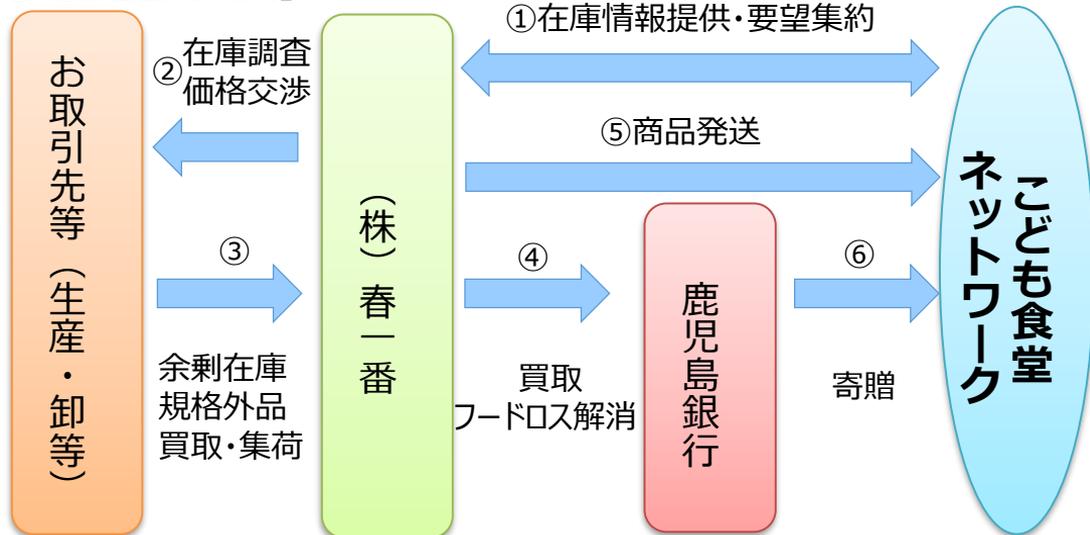
- 地域の将来を担う子ども達の支援と県産品を活用することによる食育の実施
- 新型コロナウイルスの影響による経済活動停滞により、農水産物の販売量が減少した生産者支援、及び在庫増加による食品廃棄（フードロス）問題に対する支援

【主な活動状況】

- 2019年11月：当行創業140周年事業で、子ども食堂に大型冷凍庫1台・のぼり・ポール200個を寄贈
- 2020年5月：子ども食堂に対する食糧支援の開始を検討
- **2020年6月：かごしまこども食堂・地域食堂ネットワーク（事務局）と「食品の譲渡に関する合意書」締結**
- 2020年6月：初回寄贈実施。以降、毎月2回のペースで食材調達・寄贈を実施中（継続的な取り組み）

2. 内容・効果等

【支援活動の流れ】



(株)春一番の卸売・商品仲介機能を活用し、お取引先の余剰在庫・規格外品の調査・価格交渉を実施

(株)春一番が購入した取引先等の農水産物の余剰在庫・規格外品を当行が買い取り、子ども食堂へ継続的に寄贈（毎月2回）

支援対象	コロナによる影響	地域課題	期待できる効果	達成するSDGs
社会的弱者 (子ども等)	低所得世帯の更なる困窮	所得の減少等による、子どもの貧困加速	食材の無償提供による 貧困（飢餓）解消	2 質の高い教育をみんなに
子ども食堂 ネットワーク等	定例開催の中止・縮小	子ども達への食事・食料の提供・食育の機会の減少	安定的な食材調達手段の確保 県産品の活用による食育実施	4 質の高い教育をみんなに
農水産業の お取引先等	売上減少・在庫増加	過剰在庫問題・規格外商品の廃棄によるフードロス	生産者の売上支援 フードロスの回避	12 つながる持続可能な未来